

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月5日

評価対象事業		評価者	道水路管理課担当課長 芳賀 哲夫	
都整-05	実施事業	道路施設管理事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 道水路管理課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	道路整備	施策の方針	道路・橋りょうの整備・維持管理

1 事業の目的

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

対象	市民等	道路利用者の安全性・快適性を保ち良好で円滑な道路機能を保持するための業務を行った。
意図	道路機能を良好に保持するため。	
効果	多様化する生活環境や市民等の安全性・快適性の向上を図るため、常に良好で円滑な道路機能の保持を図る。	

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	107,871	109,800	当初予算(千円)	123,116		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他	83,163	101,472	その他	10,817		
	一般財源	24,708	8,328	一般財源	112,299		
	人員配置数	5.6	5.6	人員配置数	5.0		
人件費(千円)	43,507	43,634	人件費(千円)	38,724			
事業経費運営	総事業費(千円)	151,378	153,434	総事業費(千円)	161,840		
	市民1人当りの経費(円)	858	870	市民1人当りの経費(円)	917		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウんで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか 今後も市が実施すべき事業か	3. 廃止・休止による影響は大きくある 5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
		△-1. 今後、市民等との協働による事業実施に向けた検討が必要である
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	管理施設の増加と老朽化対応、多数の住民要望に対し、経費削減に努めながら予算規模については現状を維持している。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	<ul style="list-style-type: none"> ・要望対応の効率化を図るため、委託方法などを検討する。 ・多様な住民要望に応えるため、有効性を高める努力が必要である。 ・要望方法など、市民との協議の方策を検討する必要がある。
-------------------	--

平成30年度(2018年度)事業実施にあつての課題 (前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間、休日対応の制度確立および体制確保。 ・事務監督費の徴収について検討する。(令和元年度:システム検討等準備、令和2年度:システム確定および予算計上、令和3年度:徴収開始) 	
課題解決のために行つた平成30年度(2019年度)の取組	夜間、休日対応の検討。	<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	特に大船駅に設置されているエレベーター等の施設の老朽化に伴い、維持管理費用が増加することが予測される。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	要望処理率	単位	%	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由							
適切に処理(委託・作業センターや下水道河川課などへ振り分け)が出来ているか。	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)
	目標値	635.0	634.0	621.0	574.0	555.0	600.0
	実績値	635.0	634.0	621.0	574.0	555.0	
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	
-----------------------	--